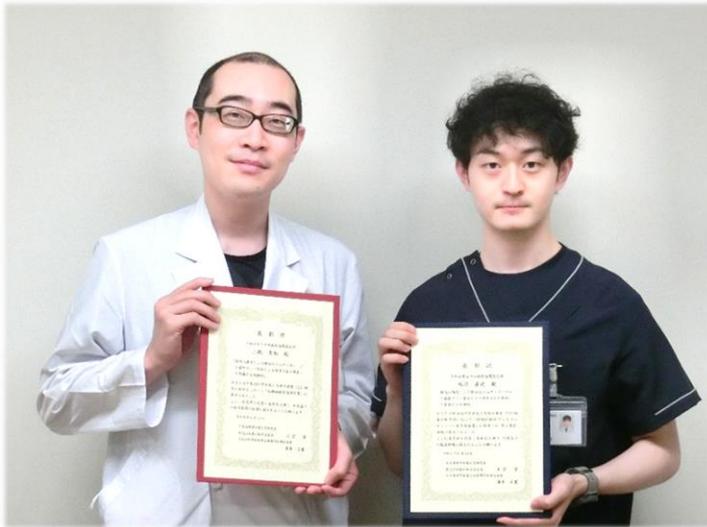




初期研修医・水沼直央先生、循環器内科・二瓶太郎先生が「若手奨励賞」「初期研修医指導医賞」を受賞しました！

当院初期研修医2年目の水沼直央先生が日本内科学会東北支部主催第223回東北地方会において「癌性心膜炎による難治性の心タンポナーデと癌性リンパ管症による呼吸不全を併発した胃癌の1剖検例」を発表し、みごと「若手奨励賞」を受賞しました。また、指導医の循環器内科・二瓶太郎先生が「初期研修医指導医賞」を受賞しました。おめでとうございます！



受賞の言葉

先日開催された第223回日本内科学会東北地方会において、若手奨励賞を受賞いたしました。演題は「癌性心膜炎による難治性の心タンポナーデと癌性リンパ管症による呼吸不全を併発した胃癌の1剖検例」で、臨床病理検討会（CPC）での発表を元にしたものです。今回が初の学会発表であり、抄録の作成から発表当日まで連日熱心なご指導を賜りました二瓶先生には感謝の念に堪えません。本症例は循環器内科の研修中に経験したのですが、発表のための文献検索やスライド作成を通じて、改めて多くの学びを得ることができました。今後も一つ一つの症例に真摯に向き合い、研鑽を重ねていく所存です。

水沼直央



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>



花火大会が開催されました。

8月30日(月)「令和3年度 十和田市夏まつり 第64回 花火大会」が開催されました。今年のプログラムは、第一部「医療従事者の方々へ敬意と感謝を込めて…」第二部「新型コロナウイルス感染症の終息を願って…」第三部「経済が回復し、街が元気を取り戻すために…」と題され、思いを込めた花火が次々と夜空をいろどりました。十和田の花火大会と言えば、近隣からも見物客が詰めかけ露店も賑わう夏の一大イベントですが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため観覧席は設けられず、周辺が立ち入り禁止にしての無観客開催と、少し寂しい大会となってしまいました。一方、各家庭で楽しめるよう、ドローンがライブ中継をおこない、上空からの夜景をバックに打ちあがる花火の映像がネット配信されました。打ち上げ場所に近い当院周辺も立ち入り禁止でしたが、入院患者さんは病棟の窓から楽しむことができたようでした。厳しい状況の中、開催には地元の皆様の並々ならぬご努力があったことと存じます。医療従事者として、花火に込められた思いをしっかりと受け止め、日々励んで参ります。



10月の市民健やかゼミナール



■ 10月のテーマ

「最新の放射線治療について-『トモセラピー ラディザクト』の紹介」

- 講師：放射線技術科 副技師長 小川 佐智男
- 日時：10月28日(木) 午後4～5時
- 場所：別館2階講堂(本館入りよりお入りください)

無料・予約不要で誰でも気軽に参加できる健康講座です。1回参加ごとに「健康とわだポイントラリー」10ポイント!

今後の予定	11/25 (木)	看護局 感染対策次長/看護師長 藤井 真希	「知って予防 感染症」
	12/16 (木)	薬局 薬局長 木村 弓子	「正しい薬の使い方」
	1/27 (木)	臨床検査科	未定
	2/24 (木)	リハビリテーション科 副技師長 新谷 亨	「日常生活における転倒防止」



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止や変更になる場合がありますので、ご了承ください。